

2025年3月9日

「万事が益となる」

ローマの信徒への手紙 8:26-30

福井和哉牧師

①パウロは万事が益となることをどのようにし知っているのでしょうか。万事、即ち良いことも悪いことも益となるのです。キーワードは「神と共に働いて」です。私達の努力や考え、心の持ちようではなく、聖霊の働きを信じる信仰から来る事をパウロは知っていると言うのです。人の努力によってではなく、また人の名誉のためではありません。神様の栄光のために益となるのです。

②条件は2つあります。1つは『神を愛する者』と言うことです。神様はあなたを愛していますというのはわかります。しかし、あなたは神を愛していますかと問われると心配になります。安心してください。神様は私達が自力で神様を愛することが出来ないことをご存知です。「私達が愛するのは、神がまず私達を愛してくださったからです。」（1ヨハネの手紙 4:19）とあるように、まずは神様が愛してくださり、私達を愛するものへと変えてくださるのです。2つ目は「ご計画に従って召された者」です。私は選ばれているのかと心配になります。ご安心ください。神様はすべての人が、救われることを望んでおられます。

③どのように益となるのでしょうか。一箴言 19:21「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する」誰が一番偉いかなどと、人生での成功ばかりを競っていた弟子たちが、聖霊が降ってから力を受けて、宣教者として変えられていったのです。聖霊に従って生きていく時に全てが益と変えられます。クリスチャンの人生に脚色や嘘があってははいけません。しかし、愛することをやめなければ全てが益となります。神様の方法で神の栄光を現す者となりましょう。